

平成28年度「宇都宮市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況

別紙2

No.	事業・取組名	支援事業計画の記載内容		平成28年度の実績値		達成率 (④/②)	評価・今後の方向性	所管課
		①量の見込み (ニーズ)	②確保方策 (受入枠)	③量 (実際の利用申込み等)	④確保方策 (実際の受入れ枠)			
1	妊婦に対する健康診査	・健康診査を受ける人数 4,691人 ・健康診査の実施回数 59,172回	【実施場所】 全国の医療機関 (病院, 診療所, 助産院) 【実施体制】 医療機関の医師 【検査項目】 尿検査, 血液検査等	・健康診査を受ける人数 4,799人 ・健康診査の実施回数 57,565回	計画の確保方策(②)と同様	100.0%	・安心して妊娠期を過ごし, 出産を迎えられるよう, 妊娠異常の予防や早期発見・早期治療を促し, 妊婦の健康管理を適正に行った。 ・母子保健法に改めて「児童虐待の発生予防・早期発見」の役割が明記されたことを踏まえ, 今後とも計画に基づき, 事業の趣旨を含めた制度の十分な周知を行い, 受診率の向上に努めながら, 適正に事業を継続する。 ・H29年10月から妊婦健診に加え産婦健診を2回実施し, 支援が必要な産婦を早期発見し, 産後ケア, 産後サポート事業などにつなげ, 切れ目ない支援を実施していく。	子ども部 子ども家庭課
2	乳児家庭全戸訪問事業	事業を利用する人数 4,456人	【実施体制】 専門職25人 (助産師, 看護師, 保健師) 【実施機関】 市直営	事業を利用する人数 4,642人	【実施体制】 専門職28人 (助産師, 看護師, 保健師) 【実施機関】 市直営	100.0%	・出産後の育児支援や虐待の未然防止を図るため, 全戸訪問による面接を実施した。 ・母子保健法に改めて「児童虐待の発生予防・早期発見」の役割が明記されたことを踏まえ, 面接率の向上や訪問指導員の確保, 資質向上に取り組むなど, 今後とも計画に基づき, 適正に事業を継続する。	子ども部 子ども家庭課
3	養育支援訪問事業	訪問事業の実施件数 270件	【実施体制】 専門的相談支援員1人, 育児・家事支援員1人 【実施機関】 子ども家庭課 子ども家庭支援室 【委託団体】 宇都宮市母子寡婦福祉連合会 (育児・家事支援)	訪問事業の実施件数 242件	計画の確保方策(②)と同様	100.0%	・専門的相談支援員や育児・家事支援などにより, 相談指導や育児・家事援助を行った。 ・今後とも, 計画に基づき, 適正に事業を継続する。	子ども部 子ども家庭課
4	地域子育て支援拠点事業	利用人数 56,495人	・利用人数 87,955人 ・施設数 地域子育て支援拠点事業12か所, その他59か所	利用人数 45,483人	計画の確保方策(②)と同様	100.0%	・計画において, 利用人数を56,495人(①)と見込み, 受入枠を87,955人(②)としたところ, 実際の利用は45,483人(③)であったが, 実際の受入枠としては, ②と同数を確保(④)している。 ・親子の交流の場の提供や育児講座の実施により, 子育ての相談指導や育児不安の解消などを行った。 ・今後とも, 計画に基づき, 適正に事業を継続する。	子ども部 保育課 教育委員会事務局 生涯学習課
5	利用者支援事業	施設数 7か所	公立子育てサロン7か所	施設数 7か所	計画の確保方策(②)と同様	100.0%	・入所に関する説明会の実施や, 利用者に対する子育てに関する情報提供などを行った。 ・今後とも, 計画に基づき, 適正に事業を継続する。	子ども部 保育課
6	一時預かり事業(幼稚園型)	延べ利用人数 238,240人	240,890人分	延べ利用人数 218,440人 (概数)	計画の確保方策(②)と同様	100.0%	・計画において, 利用人数を238,240人(①)と見込み, 受入枠を240,890人(②)としたところ, 実際の利用は217,970人(③)であったが, 実際の受入枠としては, ②と同数を確保(④)している。 ・幼稚園や認定こども園において, 乳幼児の一時預かり事業を着実にいった。 ・今後とも, 計画に基づき, 適正に事業を継続する。	子ども部 保育課
7	一時預かり事業(一般型)	延べ利用人数 24,024人	44,635人分	延べ利用人数 40,907人	計画の確保方策(②)と同様	100.0%	・計画において, 利用人数を24,024人(①)と見込み, 受入枠を44,635人(②)としたところ, 実際の利用は40,907人(③)であったが, 実際の受入枠としては, ②と同数を確保(④)している。 ・保育所や小規模保育事業所等において, 乳幼児の一時預かり事業を着実にいった。 ・今後とも, 計画に基づき, 適正に事業を継続する。	子ども部 子ども未来課 子ども部 保育課

平成28年度「宇都宮市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況

別紙2

No.	事業・取組名	支援事業計画の記載内容		平成28年度の実績値		達成率 (④/②)	評価・今後の方向性	所管課
		①量の見込み (ニーズ)	②確保方策 (受入枠)	③量 (実際の利用申込み等)	④確保方策 (実際の受入れ枠)			
8	子育て援助活動支援事業 (ファミリーサポートセンター事業)	・小学1～3年生の利用人数 6,560人 ・小学4～6年生の利用人数 7,677人	14,237人分	・小学1～3年生の利用人数 3,884人 ・小学4～6年生の利用人数 3,038人	計画の確保方策(②)と同様	100.0%	・計画において、利用人数を14,237人(①)と見込み、受入枠を14,237人(②)としたところ、実際の利用は6,922人(③)であったが、実際の受入枠としては、②と同数を確保(④)している。 ・希望者は全員、希望に沿った利用が可能な状況となるよう、協会の確保を着実にやってきた。 ・今後とも、計画に基づき、適正に事業を継続する。	子ども部 子ども未来課
9	子育て短期支援事業	利用日数 356日	宇都宮乳児院:90人・日 児童養護4施設:266人・日	利用日数 226日	宇都宮乳児院:123人・日 児童養護4施設:103人・日	63.5%	・利用日数について、必要とする家庭が少なかったことにより、想定していた利用日数を下回った。 ・確保方策については、ニーズを踏まえた確保に努めている。 ・今後とも、計画に基づき、適正に事業を継続する。	子ども部 子ども家庭課
10	延長保育事業	利用人数 1,340人	3,735人分	利用人数 4,252人	4,252人分	113.8%	・計画において、利用人数を1,340人(①)と見込み、受入枠を3,735人(②)としたところ、実際の利用は4,252人(③)であったが、実際の受入枠としては、③と同数を確保(④)している。 ・当事業は、利用したい時に利用できることが望ましく、実際の利用の増加にも対応できた。 ・今後とも、計画に基づき、適正に事業を継続する。	子ども部 保育課
11	病児保育事業	利用人数 5,285人	4,655人分	利用人数 2,908人	6,370人分	136.8%	・当事業は、計画に基づき、病院等に協力をいただきながら、計画値を上回る数を確保することができた。 ・今後とも、計画に基づき、適正に事業を継続する。	子ども部 保育課
12	放課後児童健全育成事業	利用人数 5,274人 (前年比+104人)	7,233人分 (前年比+143人分)	利用人数 4,895人 (前年比+390人)	7,110人分 (前年比+199人分)	98.3%	・利用人数について、利用ニーズが低かったことにより、想定していた利用人数を下回った。 ・確保方策については、ニーズを踏まえた確保に努めている。 ・今後とも、計画に基づき、適正に事業を継続する。	教育委員会事務局 生涯学習課
13	幼児期の学校教育・保育 (1号)	9,872人	10,185人分	8,813人	10,507人分	103.2%	・計画に位置付けられた供給体制の確保に取り組んだ。 ・今後とも、計画に位置付けられた現行体制を維持することにより、供給体制の確保を図っていく。	子ども部 保育課
14	幼児期の学校教育・保育 (2号)	4,406人	4,589人分	5,323人	4,779人分 (入所児童数 5,172人)	104.1%	・計画に位置付けられた供給体制の確保に取り組んだ。 ・今後とも、計画に基づき、現在進めている保育所等の施設整備を進め、平成29年度末の待機児童解消に繋げていく。	
15	幼児期の学校教育・保育 (3号0歳)	1,142人	1,011人分	1,903人	1,070人分 (入所児童数 1,327人)	105.9%		
16	幼児期の学校教育・保育 (3号1,2歳)	4,658人	3,644人分	4,086人	3,095人分 (入所児童数 3,528人)	84.9%	・事業者の選定等に不測の日数を要し、達成率は84.9%であるが、利用定員の弾力化の活用により、平成29年4月1日時点の待機児童数は0名となった。 ・今後とも、計画に基づき、現在進めている保育所等の施設整備を進め、平成29年度末の待機児童解消に繋げていく。	